

16 年間のステロイド使用後の強い全身症状を経て通常生活に戻り再燃時に治療を再開した成人アトピーの経過 (44 歳女性)

症例 ID：001-40-YM3 | 記録日：2016 年 7 月 25 日

1. 診断・治療前経過

幼少期から肘・膝の内側に湿疹があり、小学 4 年頃からフルコートを使用しました。手指の水疱、浸出、ひび割れが強くなり、顔にも赤みが広がりました。中学 2 年頃から成人期まで皮膚科で複数の外用薬と内服薬を使用しました。20 代半ばにステロイドを中止し、約 3 年間かけて松本医院へたどり着き、2001 年 4 月、29 歳で受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小学 4 年頃から手指、顔、全身にステロイド外用薬と内服薬を使用しました。
製品名	フルコート、ほか製品名不明の外用薬・内服薬です。
強度	複数の強度を使用しました。
使用期間	約 16 年間です。
中止時期	20 代半ばです。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小学 4 年頃	外用開始	手指の水疱にフルコートを使用しました。
中学～20 代半ば	長期使用	手指と顔の症状に複数の外用薬・内服薬を使用しました。
20 代半ば	中止	ステロイド、化粧品、シャンプー類を中止しました。
2001 年 4 月・29 歳	治療開始	全身症状が強い時期に松本医院を受診しました。
2001～2006 年	ピーク	全身の激しいかゆみ、皮膚の亀裂、疼痛、浸出液が続きました。
2006～2011 年	生活安定	IgE が低下し、普通の生活を送れるようになりました。
2011～2016 年	再燃	手から顔、首、胸、脇へ症状が広がり、微熱や腰痛もみられました。
2016 年	治療再開	数年ぶりに受診し、再び治療を開始しました。

4. ピーク時期

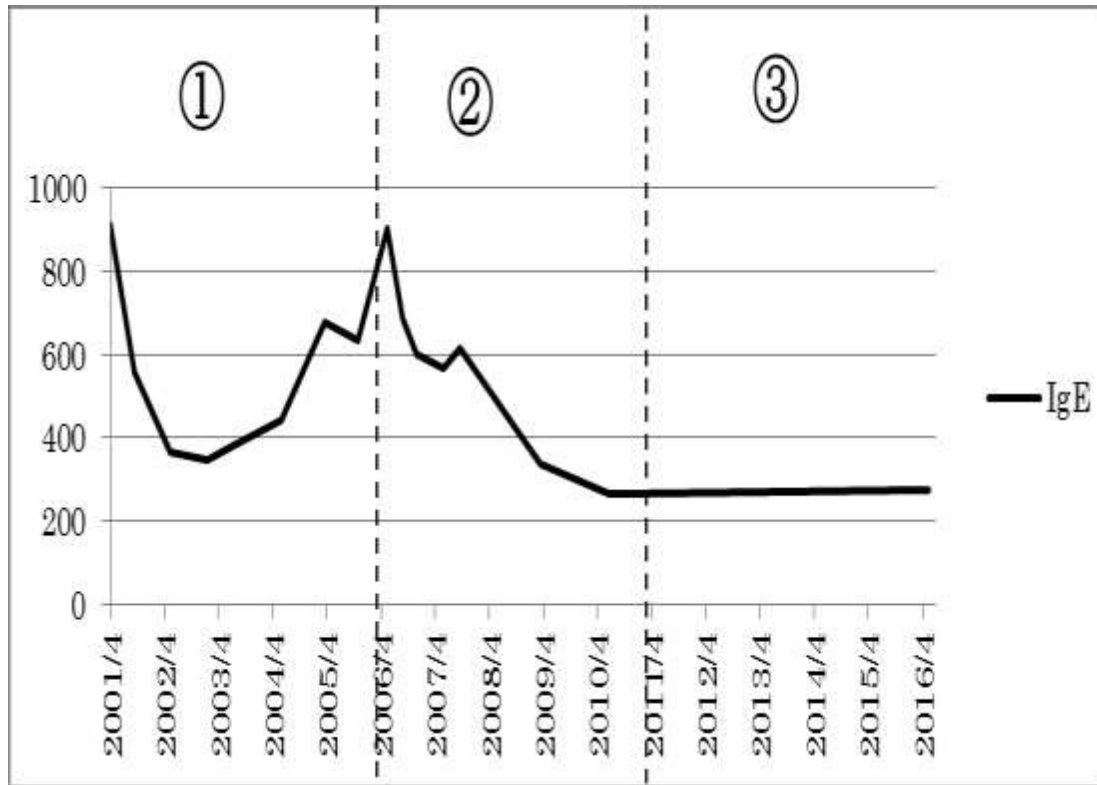
ピークは、2001～2006 年頃に全身の激しいかゆみ、皮膚の亀裂とえぐれるような傷、関節を動かす際の強い痛み、不眠が続いた時期です。

5. 困りごと

- ・全身のかゆみ発作で公共交通機関を途中下車することがありました。
- ・皮膚の亀裂と痛みで首や関節を動かしにくい状態でした。
- ・夜間のかゆみで眠れない日が続きました。
- ・一度安定した後に手、顔、首、胸、脇へ症状が再び広がりました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中の記録として掲載しています。

(1) IgE 推移グラフ



経過中の IgE の推移。

7. 経過のまとめ

2001～2006 年の強い全身症状を経て、2006～2011 年には IgE が低下し、普通の生活を送れるようになりました。その後は受診しない時期が続きましたが、手から顔、首、胸、脇へ症状が再び広がり、2016 年に治療を再開しました。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。